法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-10

鈴木武教授、矢作敏行教授退職記念号によせて

OKUNISHI, Yoshio / 奥西, 好夫

(出版者 / Publisher)
法政大学経営学会
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
経営志林 / The Hosei journal of business
(巻 / Volume)
53
(号 / Number)
1
(発行年 / Year)
2016-04-30

鈴木 武 教授、矢作 敏行 教授
退職記念号によせて

この3月、経営学部の鈴木武教授、矢作敏行教授が定年退職を迎えられました。法政大学経営学会では、長年にわたって法政大学の教育、研究等に貢献された二名の先生方を讃えて、『経営志林』の本号を退職記念号として刊行することとしました。

鈴木武教授は、1945年6月、東京都に生まれ、1969年6月、東京大学経済学部経営学科を卒業、さらに1976年3月、東京大学大学院経済学研究科統計学専攻の博士課程を単位取得満期退学されました。その後、1976年4月、法政大学経営学部に特別助手として採用され、1977年4月に専任講師、1979年4月に助教授、そして1986年4月に教授へ昇進され、2016年3月定年退職されるまでの実に40年間、法政大学経営学部に奉職されました。

教育面では、学部で「基礎統計学」と「計量経営分析」を、大学院で「統計データ解析」を主に担当されました。また、研究面では、「交通量モデル」に関する論文が多数あるほか、最近では「左右の観点からみた都市のあり方」などユニークなテーマにも取り組んでおられます。さらに、学内行政面では、学生部長（1994年度）、経営学部長（1997・98年度）、学生相談室長（2003・04・05年度）の要職に就かれました。特に学生部長時代は、いわゆる「自治会」活動がまだ盛んな中、それに毅然と対応されたと伺っています。個人的には先生が学部長時代、副主任としてお仕えしたことがあり、多くのことを学ばせていただきました。

矢作敏行教授は、1945年4月、新潟県に生まれ、1969年3月、国際基督教大学教養学部社会学科を卒業され、直ちに日本経済新聞社に記者として採用されました。同社では主に流通経済分野の取材を担当され、ロサンゼルス特派員など国際分野の仕事もなさっています。その後1990年1月、同社を退職され、1990年4月に法政大学経営学部に教授として採用されました。以来、2016年3月定年退職されるまでの26年間、法政大学経営学部に教授として奉職されました。

教育面では、学部で「流通論」を、大学院で「流通システム論」を主に担当されました。研究面では、かつて「暗黒大陸」とも呼ばれた日本の流通業の革新性に注目され、『コンビニエンス・ストア・システムの革新性』をはじめとする数多くの著書、論文があり、いくつかの学会賞を受賞されています。さらに、学内行政面では、産業情報センター所長（1995年度）、大学院社会科学研究科経営学専攻主任（2000・01年度）、イノベーション・マネジメント研究センター所長（2008・09年度）の要職に就かれました。

このように、お二人は多年にわたって法政大学に奉職され、教育や研究に尽力されるとともに、いくつかの学内行政上の役職にも就かれるなど法政大学および経営学部の発展にかけがえのない貢献をなされました。ご退職後も健康に留意され、また新たな立場で益々のご活躍をされますよう心より祈念しております。これまでのご貢献やご指導に深く感謝しつつ、退職記念号刊行の辞とさせていただきます。

2016年4月

法政大学経営学部長

奥　西　好　夫